

研修報告

総務常任委員会

●研修目的

△環境にやさしいまちづくり

△一般競争入札

●研修地

△滋賀県 野洲市

△大阪府 柏原市

●研修結果

琵琶湖を抱える環境先進県滋賀県にあつて、野洲市は合併後直ちに環境基本条例を制定し、市民委員31人、行政委員8人からなる環境基本計画策定委員会を組織し、1年半、延べ33回におよぶ委員会を開催し、市民の意見を反映しながら、条例に定める豊かな自然環境及び良好な環境の保全に

関する施策を、総合的かつ計画的に推進するため環境基本計画が策定されました。

「命の水、育む緑、安心のまち野洲」をスローガンとしたこの計画が絵に描いた餅にならないよう実践においても、策定に参加した市民、事業者、行政のパートナーシップで運営する推進組織を本年度設置し、具体的には自然分野、ごみ・資源分野、まち・くらし分野に分け、市民・行政によるプロジェクト推進委員会を作り、さらに野洲市関係17課で組織する環境基本計画内ワーキンググループもプロジェクト委員会に加わり、本計画の総合的な管理は「環境管理本部会議」で進行管理を行っていくとのこと

した。

こうした市民と行政が一体となって取り組む環境のまちづくりが、地域住民の環境意識を高め、さらには地球にやさしい活動につながっていくものと改めて認識しました。

柏原市では制限付き一般競争入札を一部実施しており、この件について研修しました。

まず、この入札の実施要綱を定め、対象金額は

- ・ 土木工事が1億8千万円
- ・ 下水道の推進工事は5千万円
- ・ 建築工事は6億円以上が対象であります。

また、これ以外の工事が対象では、1千万円以上で特殊又は高度な技術を必要とするもの、その他特別な理由があるものは対象工事としていました。

予定価格の公表については事前公表の要綱を定め、設計金額が130万円を超える建設工事においては、予定価格及び最低制限価格を事前に公表



次に、工事の検査については、契約検査課6名の体制で、そのうち4名が検査にあたり、土木3名と建築1名の専門職員で行っていました。検査は中間検査・完成検査共に2名の検査官で実施し、出来高管理はもちろん、中間検査は1ヶ月に1回、安全管理等を重点に行

い、指摘事項は書面で工事担当課長に提出し、またその対処方法を報告してもらおうという、きっちりとした検査体制でした。

文教厚生常任委員会

●研修目的

△放課後児童クラブについて

●研修地

△大阪府 島本町
△香川県 綾川町

●研修結果

島本町は大阪府の北東部、京都府との境にあり、大都市のベッドタウンとして発展をしている人口29,500人の町です。島本町では、小学校4校、児童数879名の内、213名が放課後児童クラブを利用しています。

第一小学校の保育児童は60名で2学級に分かれ、教職員の経験者や保育士等の資格を持った職員6名で受け持っていました。放課後児童クラブでは児童は宿題をしたり、科学の模型づくりや実験を行ったり、指導員の指導のもと非常に活発な教室でした。

次に、綾川町は香川県のほぼ中央部に位置し、人口約26,000人で、当町と同じ「教育の町」宣言をしています。滝宮小学校の食育の始まりは、平成13年4月、当時の校長が学校経営説明の中で「弁当の日を実施します。実施するのは5年生と6年生だけです。」